

平成 28 年度事業計画

(一社) 日本交通科学学会 平成 28 年度事業計画書

新法人化 4 年目、新役員・事務局体制 2 年目となる平成 28 年度の「一般社団法人 日本交通科学学会」の業務計画は、以下の通りである。

第一 会議の開催

1 第 52 回定期総会 (例年通り学術講演会と同時開催)

平成 28 年 6 月 18 日 (土) ~ 19 日 (日)

会 場：東京都立産業技術専門学校 荒川キャンパス
(東京都荒川区南千住 8-17-1)

大会長：三林 洋介 (東京都立産業技術専門学校 教授)

- なお第 53 回(平成 29 年度)総会・学術講演会については、一杉 正仁 大会長 (滋賀医科大学社会医学口座法医学 教授) のもと滋賀県での開催を検討中 (平成 28 年 3 月 29 日の第 126 回理事会にて承認済。本総会=第 52 回総会の第 3 号議案事項)。

2 理事会

(1) 第 127 回理事会 (第 52 回評議員会と合同開催) 6 月 17 日(金)

会場：東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス

(2) 第 128 回理事会 2017 (平成 29) 年 3 月頃

※会場等、詳細は未定。

3 評議員会

- ・第 52 回評議員会 (前記第 127 回理事会と同所同日時にて合同開催)

4 幹事会

(1) 第 7 回幹事会 6 月 3 日開催 (於 昭和大学病院会議室)

(2) 第 8 回幹事会 2017 (平成 29) 年 3 月頃

※会場等、詳細は共に未定。

※※周知の通り「幹事会」は、新法人発足の際に廃止された常任理事会に代わるものとして、理事会・総会を円滑に行うことを意図し平成 25 年度より年 2 回ペースで開催している。しかし事務簡素化と経費削減の観点から、将来的に見直しの検討が必要ではないかという意見もある。これについての即断は避けるが、今後の検討に委ねたい。

5 役員選考委員会

- ・平成 27 年の役員更改 (任期 2 年) より経過 1 年のため、平成 28 年度は実施せず。

6 各委員会の活動

- ・平成 28 年度における運営系の各委員会の主な活動予定は、資料 報 2 - 2 別表 (p.30~38 委員会体制等について) に記す通りである (順不同)。

第二 調査・研究の実施

- 1 第 52 回総会・学術講演会開催
 - ・第 52 回定期総会と同時開催のため、詳細は前出総会の項を参照。
- 2 研究部会・研究：助成研究
 - (1) 助成研究
 - (一社) 日本損害保険協会 自賠責運用益拠出 助成研究 [研究責任者：一杉正仁]
研究テーマ 「体調変化に起因する事故を予防するためのモデル事業」
(実態調査と効果的対策の実施) "平成 26 年度から 3 年継続
 - (2) その他、委託研究について応募等に対応する。必要に応じて調査研究を行う。
- 3 受託研究 (※ 申請交渉中)
 - (一社) 日本自動車工業会 委託研究 (当面は従来の継承も想定しつつ、さらに要望に応じ検討)
 1. 自動車の安全運転に関する研究
 2. 医療から見た交通事故と傷害に関する研究 "
 3. 交通科学ライフサイエンス関係文献リストの作成

第三 啓発・広報事業の実施

- 1 第 7 回賛助会員懇談会
 - ・年 1 回、年末～次年始頃に開催予定。
- 2 交通科学シンポジウム・交通科学安全セミナー
 - ・シンポジウムについて、年 1 回 (年度末頃?) 目途に開催予定 (前出のイベント企画委員会の項も参照)。
 - ・交通科学安全セミナーについて、賛助会員からの要望等も考慮し、シンポジウムとの共催形式等も視野に入れつつ今後の開催について検討する。
- 3 出版物の発行
 - ・日本交通科学学会誌 年 3 回 (前出、学会誌編集委員会の項を参照)
 - ・交通科学ライフサイエンス文献リスト平成 29 年 3 月発行予定
 - ・その他、研究報告書
- 4 学会ホームページの運用
 - ・「広報・HP アップデート委員会」を中心に、以下について継続的に活動を行う。
 - ・平成 27 年 7 月の事務局機能移行に際して運用を見直し、プロバイダー、サーバーを変更したが、これらの変更についての周知を引き続き機会を捉えて徹底する。
 - ・法人名称など内容の未修正・不備について引き続き修正。
 - ・ホームページからの入会申し込みや学術論文開示 (J-STAGE) への対応を、引き続き検討・推進する。

以上